

平成 26 年 4 月 24 日  
農林水産技術会議事務局

## 農林水産研究基本計画の見直しの進め方について（案）

### 1. 背景

- (1) 昨年 12 月に我が国の農林水産業・地域の活力創造に向けた政策改革のグランドデザインとして「農林水産業・地域の活力創造プラン」が決定されたことを受けて、農林水産省では、「攻めの農林水産業」の構築に向けて、農業の大規模化、生産コスト低減、食品の機能性など新たな国内ニーズへの対応、輸出拡大等の施策を進めているところ。
- (2) 食料・農業・農村基本計画の見直しの作業については、夏頃までは、食料・農業・農村基本法の逐条ごとの検証が進められる予定となっているが、上記を踏まえた施策の重点化等が想定される。
- (3) 他方、昨年 6 月に閣議決定された科学技術イノベーション総合戦略の見直しの動きがあるとともに、4 月 14 日に開催された第 119 回総合科学技術会議においては、甘利経済再生担当大臣から、「我が国のイノベーション・ナショナルシステムの改革戦略」として、「革新的技術シーズを事業化へ繋ぐ「橋渡し」機能の抜本強化」等が打ち出されており、農林水産研究基本計画の見直しにおいても、これらの動きを踏まえながら進めていく必要がある。

### 2. 研究基本計画の見直しに当たって検討が必要な事項

上記の背景を踏まえ、研究成果の速やかな移転・実用化による農林水産業及び施策への貢献を確実なものとしていくため、研究基本計画の見直しに当たり、以下の事項について検討を進める。

- (1) 現場・施策ニーズ、研究シーズの把握及び研究の推進に関する施策についての関係者からの意見聴取  
農林水産研究の 5 年後までの重点目標を設定するにあたり、農林水産業の現場や行政における施策ニーズ、研究機関が有する研究シーズについて、また、研究の推進に関する施策について、関係者から幅広く意見を聴取。
- (2) 現行研究基本計画の検証及び今後の方向性の検討  
現行研究基本計画に掲げられた「重点目標」及び「研究の推進に

関する施策」を詳細に検証した上で、今後5年間の重点目標とそれを推進するための施策を整理。

重点目標の設定に当たっては、(1)で把握した現場・施策ニーズ、研究シーズを踏まえつつ、将来の望ましい農林水産業像を想定し、それを実現させるために必要となる要素技術、課題を整理・抽出するバックキャスト型の検討を重視。

また、現場、実需者により活用される研究開発を進めるため、現場等への「橋渡し」機能の強化をはじめとして、「研究の推進に関する施策」の再構築を図る。

### 3. 検討の進め方

(1) 現場・施策ニーズ、研究シーズの把握及び研究の推進に関する施策についての関係者からの意見聴取

① 農林水産技術会議において、各研究分野の専門家、大学、都道府県、民間企業、農業者団体等の関係者から、現場の意見を幅広く聴取（平成27年1月まで実施、別紙スケジュール案参照）。

② 農林水産技術会議事務局において、上記関係者から、アンケート調査、意見交換会の開催、個別訪問等により幅広く意見を聴取して、9月を目途にとりまとめ。（必要に応じて、意見聴取を継続。）

(2) 現行研究基本計画の検証及び今後の方向性の検討

農林水産技術会議事務局において、現行研究基本計画に掲げられた重点目標ごとに、これまでの研究の進捗状況、残された技術課題、今後の対応、出口・目標について整理し、また、「研究の推進に関する施策」についても、各項目ごとに、検証及び今後の対応方向についての検討・整理を行い、9月を目途にとりまとめ。

(3) 中間とりまとめ

農林水産技術会議において、上記(1)及び(2)の検討結果、食料・農業・農村基本計画の検討状況、総合科学技術会議における議論等を踏まえ、11月を目途に、重点目標に盛り込むべきポイント等について中間とりまとめ。

(4) 新たな研究基本計画の決定

農林水産技術会議において、各研究分野の専門家、大学、都道府県、民間企業、農業者団体等から聴取した現場の意見を反映させ、平成27年3月に新たな研究基本計画を決定。

## 農林水産技術会議における農林水産研究基本計画の検討スケジュール(案)

毎月の農林水産技術会議において、以下のスケジュールで、テーマごとに専門家から話題提供をいただきながら、新たな研究基本計画に盛り込むべき重点目標等を議論。

開催月	農林水産技術会議	(参考) 農林水産技術会議事務局
5月	・テーマ別検討① 食料の安定生産・高品質化	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ・現場・施策ニーズ、研究シーズの把握及び研究の推進に関する施策についての関係者からの意見聴取             農林水産研究の5年後までの重点目標を設定するにあたり、農林水産業の現場や行政における施策ニーズ、研究機関が有する研究シーズについて、また、研究の推進に関する施策について、関係者から幅広く意見を聴取。         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           ・現行基本計画の検証及び今後の方向性の検討             現行研究基本計画に掲げられた「重点目標」及び「研究の推進に関する施策」を詳細に検証した上で、今後5年間の重点目標とそれを推進するための施策を整理。         </div>
6月	・テーマ別検討② 先端研究、国際研究	
7月	・テーマ別検討③ 地球環境問題への対応、林業技術、水産技術	
8月	—	
9月	・中間とりまとめに向けた論点整理 ← ・テーマ別検討④ 研究開発マネジメント (現場等への「橋渡し」機能の強化等を含む。)	とりまとめ
10月	[地方開催] (現地視察)	・中間とりまとめに向けた検討・整理 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content; margin-left: auto;">             必要に応じて関係者からの意見聴取を継続。           </div>
11月	・中間とりまとめ(骨子の提示) ←	
12月	・各界からの意見聴取① 農業者、農業法人、公設試	・最終とりまとめに向けた検討・整理
1月	・前回聴取した意見のうち研究基本計画に反映すべき事項の検討 ・各界からの意見聴取② 民間、異分野(医療、工学等)	
2月	・前回聴取した意見のうち研究基本計画に反映すべき事項の検討 ・新研究基本計画案の検討 ←	
3月	・新研究基本計画の決定	

※スケジュールは、今後の議論の状況等に応じて変更される可能性あり。